



スターゼン★ レポート

2013年3月期(第74期)第2四半期 株主通信
2012年4月1日～2012年9月30日



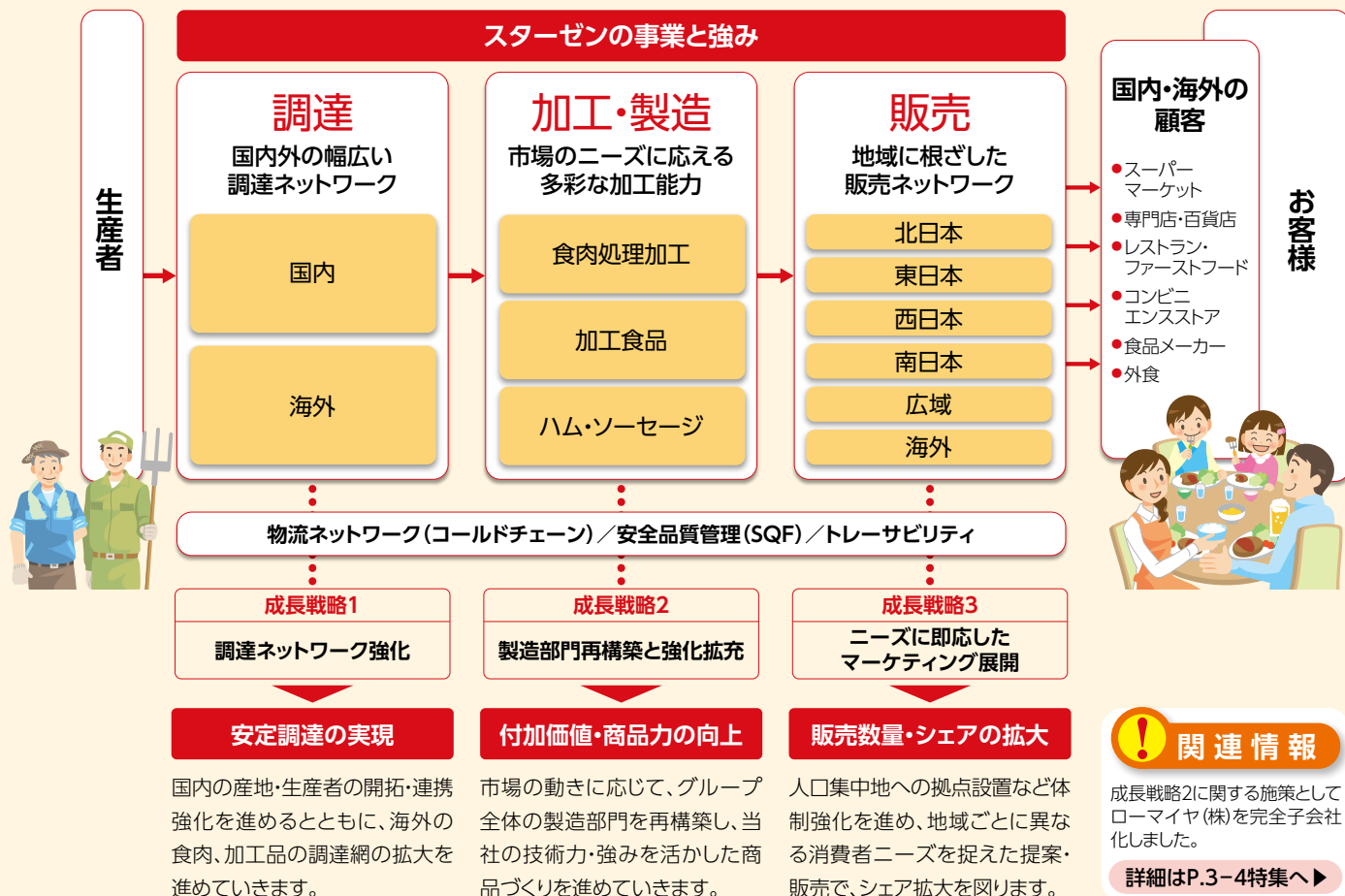
おいしさ運ぶ★一番星

スターゼン 株式会社

証券コード:8043

食のトータルサプライヤーとしての強みを活かし、機能強化を通じて、シェア拡大に積極的にチャレンジします。

産地との連携による食肉の生産から、国内外のネットワークを通じた調達、加工・製造、地域に根ざした販売・マーケティングまで。事業機能のさらなる強化と厳格な品質管理で価値ある商品の供給を通じて、シェア拡大に挑戦しています。



グループ各社の機能強化と経営効率の最大化で 持続的な成長を目指します。

株主の皆様には、日頃より格別のご支援ならびにご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期(2013年3月期第2四半期累計期間)の食肉業界の市場環境は、牛肉は昨年の上昇事故後の風評被害から若干の回復が見られましたが在庫量は多く、消費者の低価格志向や消費低迷の中で市況は軟調に推移しました。鶏肉は需要が伸び悩む中、輸入品在庫の増加と国産品の生産量が前年を上回ったことで卸売価格が前年を下回って推移しました。豚肉は鶏肉の価格低迷に引きずられて卸売価格が前年を下回って推移し、厳しい環境となりました。

このような状況の中で、当社グループは食肉および加工食品の拡売に努めた結果、取扱量は前年並を維持しましたが、売上高は微減となりました。

以上により、当第2四半期の連結業績は、売上高1,251億37百万円(前年同四半期比2.5%減)、営業利益2億36百万円(前年同四半期比68.9%減)、経常利益4億25百万円(前年同四半期比63.0%減)となり、四半期純利益は、6億25百万円(前年同四半期比34.4%増)となりました。

当社は、グループ企業ごとの機能分担を明確化し、効率的な経営資源投入を行うことで、企業価値の最大化を追求しています。

当第2四半期では、選択と集中の観点からグループの一部再編を進めました。グループ各社の機能強化を

目的に、ローマイヤ株式会社を完全子会社化しました。また、グループ全体の物流効率化に向け、株式会社ゼンチク物流を完全子会社化するとともに、外食事業をノンコア事業と位置づけ、株式会社フード・デザインの株式を売却しました。

今後、当社グループはこれまでの組織再編・分社化による経営効率化を最大限追求しつつ、「食の安全・安心」を基盤に、地域密着対応の強化、組織の活性化を継続し、国内全商品のシェア拡大と海外の産地開発を進め、持続的な成長を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なか つ はま つよし
代表取締役社長 中津濱 健



グループ一体化による事業構造改革で 加工食品、ハム・ソーセージ事業の強化・拡充を推進

2012年8月1日、株式交換により
ローマイヤ(株)を完全子会社化しました。

当社は、ハム・ソーセージ事業の拡大に向け2000年10月、ローマイヤ(株)(以下、ローマイヤ)の前身となるエルエムフーズ(株)と資本業務提携を結び、2005年6月にはローマイヤの発行済株式総数の34.90%を追加取得し子会社としました。しかし、デフレが長期化し、個人消費が低迷する中で、ハム・ソーセージ需要の減少が続き、ローマイヤの主要な販売チャネルである百貨店業態も、消費構造の変化により転換期を迎えています。こうした中、ローマイヤが経営環境の変化に対応し、成長性を維持していくには、グループ全体が強固に一体化した体制のもと、経営の意思決定を迅速に行い、経営資源を効果的・効率的に投入できる体制を構築し、事業構造の改革と収益構造の強化を推し進めることが必要であると判断し、2012年8月1日、株式交換によりローマイヤを完全子会社化しました。

合理化による収益力強化とともに
市場の変化に応える商品づくりを進めます。

当社グループは、現在、グループ各社の機能分担を明確化し、グループ一体の事業戦略を展開することで、持続的な成長を目指しています。ローマイヤは、今後、主にハム・ソーセージ、加工食品の製造に特化し、以下の「攻め」と「守り」の施策を実施し、競争力を高めていきます。

「攻め」の施策

- グループの販売チャネル・販売力を活用し売上拡大
- グループの人的資源・技術を活用した高付加価値商品の開発

「守り」の施策

- 計画生産の推進・アイテム統廃合
- 間接業務の一元化・物流の合理化
- SQFに基づく品質管理体制の強化

ローマイヤ(株)の位置づけ

グループ製造部門

市場の変化に応える商品づくりに特化

スターゼン(株)

一松尾工場・船橋工場・マクドナルド事業部ー
ハンバーガーパティ・ハンバーグ
食肉加工品等

スターゼン ミートプロセッサー(株)

食肉の処理加工、食肉加工品
(全国7工場)

ローマイヤ(株)

ハム・ソーセージ・加工食品

製造に特化

(株)キング食品

フリーズ・ドライ食品などの加工食品

(株)青木食品

うどん・中華麺などの麺類

ローマイヤ(株)について



ローマイヤ(株)は、1921年(大正10年)にドイツのハム・ソーセージマイスターであるアウグスト・ローマイヤが創業し、日本で初めて「ロースハム」を開発・製造し、銀座に直営ドイツレストランを開業するなど、欧風文化の発信に貢献してきました。90年以上の歴史の経た現在も、創業当時のまま上質な肉の旨みや風味を引き出した代表ブランド「黒ラベルシリーズ」のハム・ソーセージは、多くのお客様からご愛顧いただいています。

主力商品のご紹介



元祖
ロースハム



黒ラベル ロースハム・ボンレスハム



黒ラベル ハム・ソーセージ詰め合わせ



黒毛和牛ローストビーフ

商品づくりの現場から ～栃木工場～

那須の恵まれた自然環境の中、丹精を込めた商品づくりをしています。

ローマイヤ相承の技術で仕上げたハム・ソーセージと柔らかくジューシーな味わいのローストビーフを是非ご賞味ください。



SGF認証取得



ローマイヤ(株)栃木工場外観



定量定寸充填機による
ウィンナー充填業務



ロースハムのスモーク・加熱処理

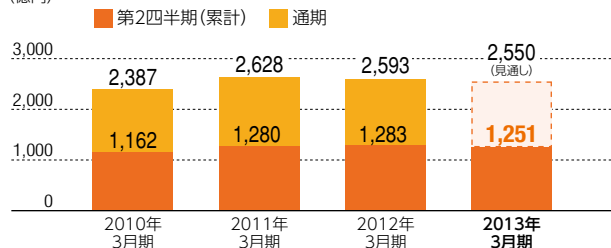
売上高 牛肉の取扱量・売上高は伸長した一方で、豚肉・鶏肉の需給悪化が影響し、1,251億37百万円となりました。

営業利益・経常利益 売上高の減少に伴い売上総利益が減少したことにより、営業利益2億36百万円、経常利益4億25百万円となりました。

四半期純利益 投資有価証券売却益、受取補償金等を特別利益に計上したことと税金費用が減少したことにより、6億25百万円となりました。

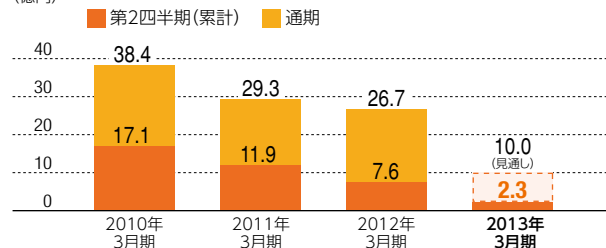
売上高

(億円)



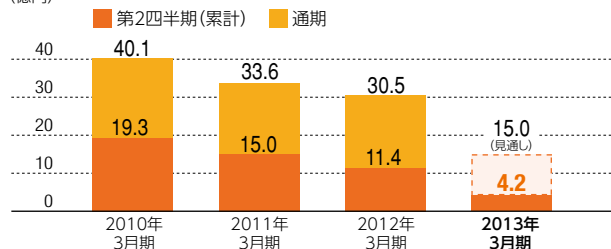
営業利益

(億円)



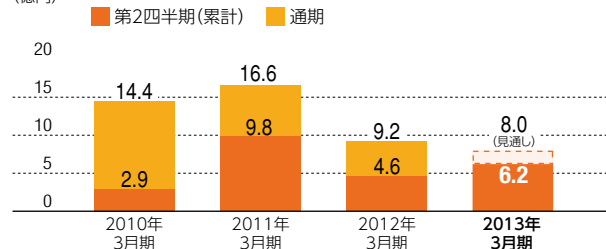
経常利益

(億円)



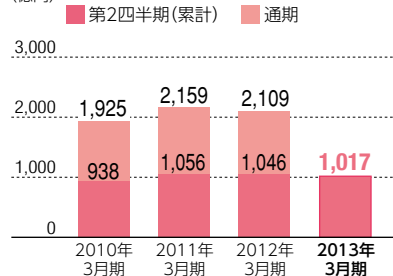
四半期(当期)純利益

(億円)



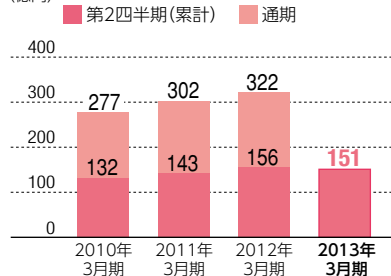
食肉 売上高

(億円)



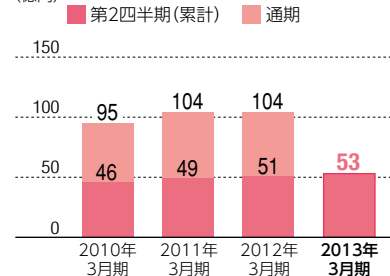
加工食品 売上高

(億円)



ハム・ソーセージ 売上高

(億円)



会社概要

設 立	1948年6月17日
本 社	〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 港南ビル
資本金	98億9,975万円
主な事業内容	1.食肉の加工および販売 2.畜産物の生産、加工および売買 3.食肉および畜産物の輸出入 4.食品の製造、加工および売買
主な販売先	スーパーマーケット、食肉専門店、百貨店、 外食産業、コンビニエンスストア、生協、 食品加工メーカー、食肉卸売業、その他
従業員数	2,246名(2012年9月30日現在)

役員

(2012年9月30日現在)

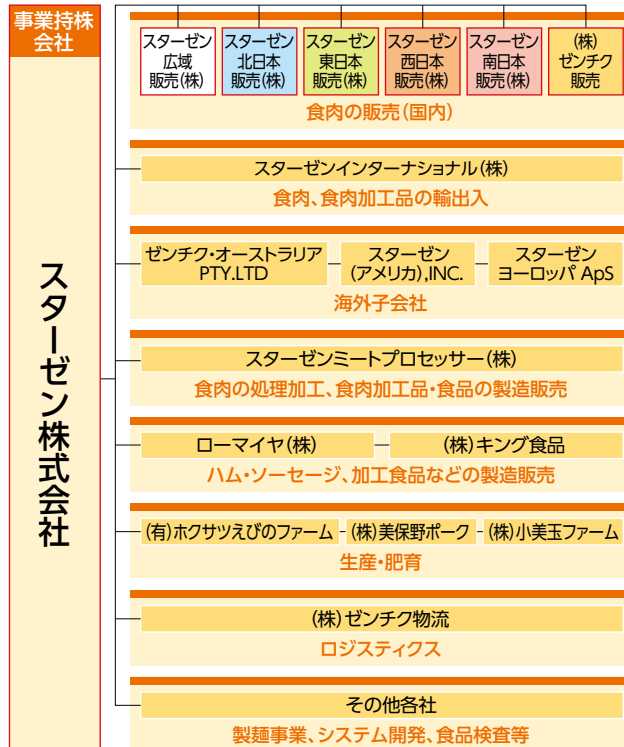
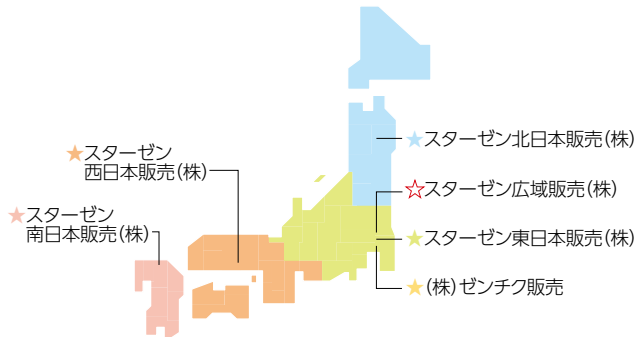
代表取締役会長	鵜 橋 誠 一
代表取締役社長	中津 濱 健
常務取締役	永 野 章
常務取締役	中 井 俊 夫
取締役	宮 坂 文 郎
取締役	寺 師 孝 一
取締役(社外)	鈴 木 宏
取締役(社外)	太 田 泰 介
取締役(社外)	本 橋 英 一
常勤監査役	片 山 学
常勤監査役(社外)	北 條 秀 樹
監査役(社外)	杉 島 光 一
監査役(社外)	吉 原 大 吉

株式の状況

(2012年9月30日現在)

発行可能株式総数	200,000,000株
発行済株式の総数	87,759,216株
株 主 数	20,439名

組織図





株主優待のご案内



日頃からご支援いただいている株主の皆様に感謝の気持ちを込めまして、株主優待を所有株式数に応じ次の通り進呈いたします。

自社グループ製品(3月のみ)

- 1,000株 以上: ハムソーセージセット(3,000円相当)
10,000株以上: 国産和牛ステーキ肉(8,000円相当)
- 1,000株以上: 歳暮ギフト(9月)、中元ギフト(3月)を
通常販売価格の20%割引(送料無料)にてご案内
- 1,000株以上: 「ローマイヤおせち」の割引販売(数量限定)
20%割引(送料無料、9月のみ)にてご案内
- 1,000株以上: レストランローマイヤ銀座店食事代
20%割引券を進呈(3月、9月)

本社移転のご案内

この度、本社が所在していた港南ビルの新築工事完了に伴い本社を移転して、2012年11月19日より業務を開始しました。



移転先

〒108-0075
東京都港区港南二丁目5番7号
港南ビル

電話番号

03-3471-5521(代表)
※これまでと変更はございません。

当社ホームページのご案内

当社の各種IR資料をご覧いただけるほか、オリジナルのコンテンツを豊富にそろえています。ぜひ当社ホームページをご活用ください。



<http://www.starzen.co.jp>

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	単元株式数	1,000株
剰余金の配当基準日	3月31日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月下旬		
公告方法	電子公告 (http://www.starzen.co.jp/ir/koukoku) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。		

スターゼン株式会社

〒108-0075 東京都港区港南二丁目5番7号 港南ビル
電話: 03-3471-5521

